

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第二十四話 「アイヌ文化の狩猟について」

(要約文)

アイヌ文化の伝承活動は全道的に広がりを見せており、アイヌ語学習をはじめ、踊りや唄、着物や木製用具の制作など様々行われています。今回は、アイヌ文化における狩猟方法について、以前聞き取り調査した内容をもとに紹介します。

○穴熊とり

熊穴はカムイチセと呼び、穴の入り口を丸太で塞ぎ、ブドウ蔓などでしばって固定しました。冬眠している熊を起こすために笹でタグサを作り、熊が目覚まして顔を出そうとした時に銃で射止めました。

○仕掛け弓 (アマツポ・クワリ)

動物が紐などに足がかかると、弓が弾かれる仕組みになっています。かつては弓に毒を塗って熊などをとったようです。大きな動物は命中しやすいといえます。

○シカ猟と罠

鹿の通り道に木の弾力性を利用してロープをかけて、首にかかり動けなく

なつた鹿を捕獲します。木の弾力を使用した罠をヘップタニと呼んでいました。

○テン・イタチとりの罠

小さな木柵の中に餌を置いて頭を入れると、止めていた短木がはずれて釘の刺さった輪が上方にはね上がる仕組みです。テンやイタチなどの小動物はすぐに死に、皮に穴をあきますが、たいした穴ではないので毛皮を業者に売っていたそうです。

○その他

その他に、川魚を取るときに、木枝などを利用したラウマツプ (またはウライともいわれる) という築 (やな) を使っていました。

近頃ではアライグマや熊の捕獲に鉄柵の罠が使用されていますが、自然の恵みを利用した罠があったことを、アイヌ文化の狩猟法から知ることができます。



郷土資料館に展示している
川の魚をとるための築 (やな)

シートベルトの全席着用

- 同乗者の着用はドライバーの義務
- 車外放出により致命傷の危険も
- 後部座席は特に危険

静内警察署

火災・救急出動状況		() かつこ内は前年同期	
区分	火災件数	救急件数	
5月	0件 (0件)	13件 (33件)	
2年1~5月	0件 (3件)	96件 (142件)	
交通事故発生状況		() かつこ内は前年同期	
区分	発生件数	死者	傷者
5月	0件 (1件)	0人 (0人)	0人 (1人)
2年1~5月	1件 (3件)	0人 (0人)	1人 (3人)

人のうごき

(5月末現在)

人口	5,442人	(前月比 - 5人)
男	2,666人	(前月比 - 2人)
女	2,776人	(前月比 - 3人)
世帯	2,761世帯	(前月比 - 9世帯)

町公式ホームページ

町公式フェイスブック

